



# 蚊が媒介する 「日本脳炎」

平成 29 年 9 月 20 日  
富山県感染症情報センター

(直 0766-56-5431)

(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

(平成 29 年第 37 週分・9 月 11 日～9 月 17 日)

### 《 インフォメーション 》

#### 日本脳炎

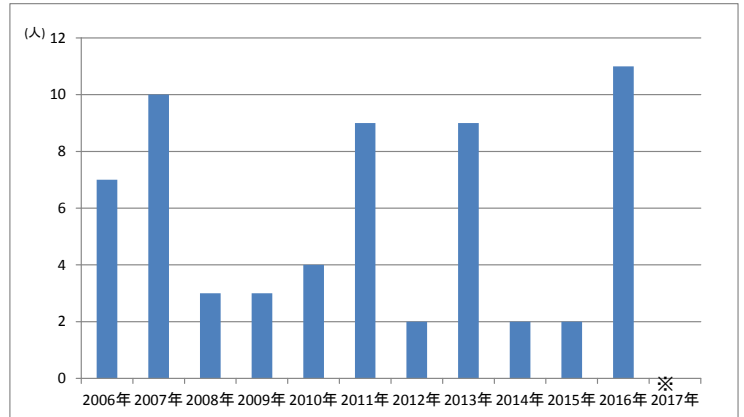
日本脳炎は、蚊（日本では主にコガタアカイエカ）が日本脳炎ウイルスに感染したブタを吸血し、その後ヒトを刺すことにより起こります。感染しても日本脳炎を発病するのは 100～1,000 人に 1 人程度であり、大多数は無症状に終わります。まれにウイルスを持った蚊に刺されてから 6～16 日の潜伏期間の後、突然の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、意識障害や麻痺等の神経系の障害を引き起こします。発症した方の 20～40%が死亡し、生存者の 45～70%に精神障害などの後遺症が残るといわれています。

近年の日本脳炎患者報告数は予防接種の普及等により減少し、全国でも毎年数名程度です（図参照）。富山県では平成 9 年以降の報告はありません。

日本脳炎ウイルスに感染したブタでは、ウイルスに対して抗体が出来ることから、ウイルスの蔓延状況を調べるために、ブタの抗体保有状況が調査されています。富山県では 9 月上旬に抗体陽性となったブタが報告されており、県内でも感染の可能性は依然として存在します。

日本脳炎に対する特異的な治療法はなく、症状緩和の対症療法となります。予防の中心は蚊に刺されないこと、日本脳炎の予防接種を受けることです。予防接種により、日本脳炎の罹患リスクを 75～95%減らすことができると報告されています。

日本脳炎年別患者報告数(2006～2017年：全国)



※第 37 週現在までの報告はありません

### 《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 5 件 (①第 36 週診断分：70 歳代、女性 ②50 歳代、女性  
③70 歳代、女性 ④80 歳代、男性 ⑤90 歳代、男性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (第 36 週診断分：80 歳代、女性、A 群)  
後天性免疫不全症候群 1 件 (第 36 週診断分：50 歳代、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.69	4.55	↑
2 位	RS ウイルス感染症	4.52	4.79	↓
3 位	手足口病	1.62	2.48	↓
4 位	ヘルパンギーナ	0.79	1.28	↓
5 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	0.72	↑
6 位	流行性角結膜炎	0.57	0.14	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第37週 平成29年9月11日～平成29年9月17日）

分類	疾患	今週報告分（第37週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			3		1	4	9	6	36	10	65	126
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3
	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	12	1	11	27
四類感染症	A型肝炎							2				1	3
	デング熱											3	3
	レジオネラ症							4		9	1	12	26
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2			4	2	8
	急性脳炎											1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		5	7
	後天性免疫不全症候群									1		5	6
	ジアルジア症							2		1			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							4		4	2	17	27
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒							1		4		4	9
	播種性クリプトкокクス症											1	1
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ			1			1	1,886	1,364	2,454	1,554	3,418
				0.08			0.02						
RSウイルス感染症		6	10	42	27	46	131	55	57	183	163	644	1,102
		1.50	3.33	5.25	6.75	4.60	4.52						
咽頭結膜熱		5		2	2	5	14	86	26	212	63	167	554
		1.25		0.25	0.50	0.50	0.48						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	3	3		11	22	123	51	701	231	652	1,758
		1.25	1.00	0.38		1.10	0.76						
感染性胃腸炎		28	14	21	16	57	136	1,264	807	1,226	547	2,818	6,662
		7.00	4.67	2.63	4.00	5.70	4.69						
水痘						2	2	6	33	80	32	117	268
						0.20	0.07						
手足口病		1	5	8	4	29	47	247	174	1,046	261	1,004	2,732
		0.25	1.67	1.00	1.00	2.90	1.62						
伝染性紅斑			1				1	1	1	5	1	18	26
			0.33				0.03						
突発性発しん		1	1	3		4	9	39	27	162	62	109	399
		0.25	0.33	0.38		0.40	0.31						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ		3	1	14	5		23	41	41	216	76	120	494
		0.75	0.33	1.75	1.25		0.79						
流行性耳下腺炎		1	2	1		2	6	158	68	412	78	357	1,073
		0.25	0.67	0.13		0.20	0.21						
急性出血性結膜炎										3	2		5
流行性角結膜炎				2	1	1	4		3	221	21	7	252
				1.00	1.00	0.50	0.57						
細菌性髄膜炎								1				1	2
無菌性髄膜炎							1				3	4	
マイコプラズマ肺炎			1			1	9	3	16	9	16	53	
			1.00			0.20							
クラミジア肺炎							1	1		1	3	6	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）						1	1				1	1	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。